

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新岡本病院建設工事	階数	地上7階
建設地	京都府久世郡久御山町佐山園ノ口35-1	構造	S造
用途地域	医療施設専用地域(法23条区域)	平均居住人員	419人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	525,600時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年1月 予定	評価の実施日	2014年3月27日
敷地面積	28,472 m ²	作成者	株式会社内藤建築事務所
建築面積	7,131 m ²	確認日	
延床面積	29,636 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

環境品質 G

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	77%
③上記+②以外の	74%
④上記+	74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境 (敷地内)

Q2 サービス性能

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	3.0
温熱環境	3.3
光・視環境	2.7
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

機能性	4.0
耐用性	3.2
対応性	3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物の	3.6
自然エネ	0.5
設備システ	4.7
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.0
非再生材料の	3.0
汚染物質	4.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	4.0
地域環境	2.6
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
自然エネルギーの活用など、環境負荷の低減を図り、地球温暖化の防止に配慮する。	注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 できる限り、自然採光・自然換気を確認した計画とする。また、外壁廻りや外部に接するスラブ下に断熱材を吹き付ける。	Q2 サービス性能 ユニバーサルデザインの徹底、強い耐震構造により、安全・安心の施設づくりを行う。
LR1 エネルギー 病室はペアガラスとする。また、外壁廻りや屋上スラブの下に断熱材を吹き付ける。	LR2 資源・マテリアル 節水型の設備を採用する。
	LR3 敷地外環境 工事中における振動や騒音、粉塵等の防止を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される